

青山学院大学大学院

年度	2025
研究科	文学
専攻	英米文学
課程	博士後期
入試種別	一般入試
試験科目	専門知識
科目詳細	英文学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

問1

- (a) 英文学の研究文献の理解力を判断する。
- (b) 受験者が自身の研究を英文学研究全体の中で適切に位置づけられるかを判断する。また英文を構成する力を判断する。

問2

- (a) 英文学の研究文献の理解力を判断する。
- (b) 受験者が自身の研究を英文学研究全体の中で適切に位置づけられるかを判断する。また英文を構成する力を判断する。

青山学院大学大学院

年度	2025
研究科	文学
専攻	英米文学
課程	博士後期
入試種別	一般入試
試験科目	専門知識
科目詳細	米文学
解答区分 (該当に○)	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ <u>具体的な出題意図</u> ・ 解答のポイント ・ 略解

問題 I

設問 1.

研究書の英文読解力、背景的知識も駆使した要点と文脈の理解力および内容の正確な説明と表現力を問う設問である。アメリカ文学・文化の高度な同時代的・歴史的研究を行うための読解力、知識と論理的思考力、表現力を測る。

設問 2.

設問 1 の英文内容をもとに与えられた課題に沿って論述するのに十分なアメリカ文学・文化研究の動向と作品についての知識と思考力、および正確かつ説得力のある論述の構成力と表現力を問う設問である。アメリカ文学・文化の高度な同時代的・歴史的研究を行うための知識、論理的思考力、表現力を測る。

問題 II

設問 1

A 散文、B 演劇、C 詩の引用文について、選択した引用文の英語読解力と形式およびテーマの理解力、そして内容の理解と表現力を問う設問である。文学・文化の高度な同時代的・歴史的研究を行うための読解力、論理的思考力、表現力を測る。

設問 2

A,B,C ともに設問 1 の内容をもとに与えられた課題に沿って論述するのに十分なアメリカ文学・文化研究の動向と作品についての知識、思考力、および正確かつ説得力のある論述の構成力と表現力を問う設問である。文学・文化の高度な同時代的・歴史的研究を行うための知識、論理的思考力、表現力を測る。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	英米文学
課程	博士後期
入試種別	一般入試
試験科目	専門知識
科目詳細	英語学
解答区分 (該当に○)	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

Items I and II are intended to give the instructors involved a deeper understanding of what you outlined in your Statement of Purpose (入学志願書). Your responses to all items are expected to be written professionally and organized in a clear, coherent structure.

Please be reminded that, as stated in the instructions, you may write your responses in either English or Japanese, except in areas supervised by C. Thompson, where English is required.

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	英米文学
課程	博士後期
入試種別	一般入試
試験科目	専門知識
科目詳細	英語教育学・コミュニケーション
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

<出題の意図>

英語教育学・コミュニケーション分野で網羅する研究領域（英語科教育・第二言語習得論・対人コミュニケーション・非言語コミュニケーション・異文化コミュニケーション・語用論・社会言語学・談話分析・パフォーマンス研究・通訳翻訳研究・TESOL）から出題した。

設問Iは、博士後期課程入学後の研究を遂行するために必要な基本的概念・用語の意味を理解し、「対」になった用語の関係を考慮しながら、簡潔に論述できる能力を評価するために出題した。

設問IIは、博士後期課程において、博士論文執筆を含む研究計画が既に具体的に立てられており、かつ、良い構成の英語文章で論述できる能力を評価するため出題した。

設問IIIは、英語教育学（A(1)(2)）、または、コミュニケーション（B(1)(2)）領域の英文を読み、各問いに対し、的確に論述できる能力を評価するため出題した。英文は、博士後期課程入学後の研究を行う上で重要なテーマを含むものから選定した。

以上